

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月9日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされる**カレニア・ミキモトイ**が最高で2,100 cell/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL、**コクロディニウム・ポリクリコイデス**が最高で18 cells/mL確認されました。**カレニア・ミキモトイ**は漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（1,000 cells/mL）を上回っていますので、十分注意してください。また、**コクロディニウム・ポリクリコイデス**は注意基準値（10 cells/mL）を超えており、今後、漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）に達する恐れがありますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A ガラク (2.6m) 【10:39】	0	25.5	29.4	8.1	1	0	0	-
	2	25.3	30.3	7.8	3	0	0	-
	5	25.3	30.4	7.6	4	1	1	-
	10	25.2	30.8	7.2	112	0	0	-
	底層 14	25.2	31.2	7.1	-	-	-	-
B 勢井 (2.6m) 【10:50】	0	25.5	29.4	8.2	0	0	0	-
	2	25.5	29.8	7.9	7	0	4	-
	5	25.5	30.1	7.3	102	1	3	-
	10	25.3	30.9	6.9	240	1	0	-
	底層 18	24.7	33.0	5.4	-	-	-	-
C 馬の背 (3m) 【10:58】	0	25.8	29.5	8.2	3	0	4	780
	1	25.8	29.6	8.3	29	1	8	-
	2	25.6	29.7	7.9	14	0	0	700
	3	25.5	30.1	7.7	260	1	2	-
	4	25.4	30.2	7.6	85	0	2	-
	5	25.3	30.3	7.7	220	0	0	650
	7	25.4	30.4	7.7	440	0	0	-
	10	25.2	30.7	7.5	180	0	0	800
	底層 21.5	24.6	33.1	5.8	-	-	-	-
D 大室戸 (3m) 【10:19】	0	25.6	29.4	8.1	0	1	0	-
	2	25.5	29.7	7.7	2	0	4	-
	5	25.4	30.4	7.6	5	0	3	-
	10	25.3	30.8	7.3	360	0	0	-
	底層 21	24.3	33.6	5.8	-	-	-	-
E 白浜 (2.3m) 【10:28】	0	25.8	29.4	7.5	1	0	0	-
	2	25.5	29.7	7.2	4	0	6	-
	5	25.3	30.3	7.3	71	1	2	-
	10	25.3	30.8	7.1	300	0	0	-
	底層 17.5	24.7	33.1	5.5	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
F 湾奥ブイ (3.4m) 【10:04】	0	25.9	29.4	8.2	0	0	12	840
	1	25.8	29.6	8.3	0	0	18	-
	2	25.8	29.9	8.6	1	0	11	1,500
	3	25.7	30.0	8.5	1	0	1	-
	4	25.7	30.3	8.4	9	0	2	-
	5	25.6	30.3	8.2	21	0	1	1,200
	7	25.5	30.5	8.0	2,100	1	2	-
	10	25.5	31.1	7.9	740	0	0	480
	底層 16.5	24.7	33.1	5.5	-	-	-	-
G 大谷漁港内 (3m) 【11:26】	0	26.2	28.8	8.6	0	1	8	-
	2	26.0	29.9	8.6	1	0	5	-
	5	25.8	30.3	8.1	150	0	0	-
	底層 9.5	25.5	31.1	7.6	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2～4月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

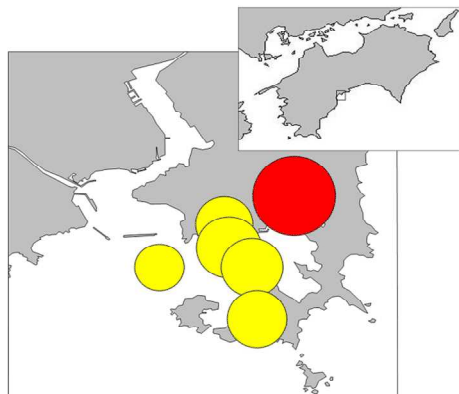
E: 白浜

F: 湾奥ブイ

G: 大谷漁港内

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



珪藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

